



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月15日

東

上場会社名 株式会社エーアイティー

上場取引所

コード番号 9381

URL <https://www.ait-jp.com/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢倉 英一

問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 総合企画部・情報システム部・(氏名) 香月 俊哉 (TEL) 06(6260)3450
経理財務部・海外担当兼社長室長

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績(2026年3月1日～2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	14,933	1.3	1,106	4.3	1,173	△10.0	789	△9.3
2026年2月期第1四半期	14,738	14.4	1,060	△7.2	1,303	10.0	870	14.3

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 986百万円(48.9%) 2026年2月期第1四半期 662百万円(△35.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	33.61	—
2026年2月期第1四半期	37.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	28,097	20,552	71.8
2026年2月期	27,596	20,858	74.3

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 20,167百万円 2026年2月期 20,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	45.00	—	55.00	100.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	55.00	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日～2027年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,150	6.7	2,070	2.3	2,250	△6.1	1,550	△4.8	65.98
通期	62,500	7.0	4,530	7.9	4,960	6.0	3,390	6.7	144.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年2月期1Q	23,913,600株	2026年2月期	23,913,600株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	420,008株	2026年2月期	420,008株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年2月期1Q	23,493,592株	2026年2月期1Q	23,493,592株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や賃上げの広がりを背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、エネルギー・原材料価格の高騰により物価上昇が継続しており、家計負担は増加しております。このような状況のもと、個人消費については、生活防衛意識の高まりから消費者マインドに弱さがみられ、慎重な動きとなっております。さらには、中東情勢の緊迫化を含む地政学的リスクの高まりや米国の通商政策をめぐる動向、金融資本市場の変動の影響なども加わり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格のさらなる上昇などにより、企業を取り巻く経営環境は厳しい状況にあります。物流業界におきましては、近年、人件費の上昇や慢性的な人手不足を背景に、輸送体制の維持・確保に係る負担が増大しております。加えて、中東情勢に起因する燃油価格の高騰は、海上輸送のみならず国内配送にも影響を及ぼし、物流コストをさらに押し上げる要因となっております。

このような環境下において、当社グループでは、安定的な利益の確保を図るため、燃油サーチャージの引き上げなどによるコスト上昇分の価格転嫁に努めるとともに、主力事業である国際貨物輸送の取扱拡大を図るべく積極的な営業活動を継続し、さらに、輸出入関連の付帯サービスなどの受注拡大にも取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、春節の休暇時期が前年は1月下旬から2月初旬であったのに対し、本年は2月中旬から下旬となり、その時期のずれの影響を受け、当社グループの主力である海上貨物輸送では、本年3月の取扱数量が一時的に減少しました。一方で、前連結会計年度から継続してアパレル関連商材の荷動きが比較的堅調に推移したことや、燃油サーチャージの引き上げなどにより、海上貨物輸送の運賃水準が前年同時期と比べて高く推移したことや日本国内の陸送費用の価格上昇に加え、円安環境も収益を押し上げる要因となり、営業収益は増加しました。また、売上総利益についても、営業収益の増加に加え、売上総利益率の改善などが寄与し、前年同期を上回ることでとなりました。

販売費及び一般管理費につきましては、給与のベースアップなどにより人件費が増加したものの、業務効率化の推進やその他の費用の抑制に取り組み、可能な限り利益の確保に努めました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は14,933百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は1,106百万円（前年同期比4.3%増）となりました。また、経常利益は、前年同期に為替差益を計上した反動で1,173百万円（前年同期比10.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は789百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

①日本

当第1四半期連結累計期間においては、燃油サーチャージの引き上げなどにより、前年同期と比較して海上貨物輸送の運賃水準は高い状況となりましたが、当社グループでは、収益拡大に向けて新規顧客の獲得を進めるとともに、既存顧客との取引深耕にも注力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の海上輸送における取扱コンテナ本数は、昨年と本年の春節休暇の時期のずれにより、本年3月の取扱数量が一時的に減少した影響で、輸入は58,493TEU（前年同期比2.3%減）、輸出入合計は62,397TEU（前年同期比2.8%減）となりました。また、通関の受注件数は38,459件（前年同期比2.5%減）となりました。

以上のことから、日本における営業収益は、累計期間において取扱コンテナ本数および通関受注件数が減少したものの、海上輸送における運賃や日本国内の陸送費用の上昇に加え、円安環境もプラス要因となり、12,797百万円（前年同期比3.0%増）となりました。また、セグメント利益は、売上総利益率の改善効果もあり、871百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

②中国

日本向け貨物は安定的に取り扱うことができたものの、米ドルに対して人民元高で為替が推移したことやその他の為替変動の影響に加え、検品などの受注減少により、中国における営業収益は1,740百万円（前年同期比6.7%減）となりました。一方でセグメント利益は、日本同様に売上総利益率が改善したことに加え、費用の抑制効果もあり、196百万円（前年同期比31.2%増）となりました。

③その他

台湾子会社では、台湾向け輸入貨物の取扱いが増加したことに加え、三国間輸送の受注が堅調に推移し、安定的に収益を確保することができました。一方で、ミャンマー子会社では、ミャンマー国内における物流の受注などが低調であったこと、また、ベトナム子会社では、組織再編に伴う営業収益の減少などもあり、営業収益は395百万円（前年同期比12.3%減）となり、セグメント利益は38百万円（前年同期比47.5%減）となりました。

（注）TEU（Twenty-foot Equivalent Unit、20フィートコンテナ換算）とは、海上コンテナの数量を表す単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUと計算します。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ500百万円増加し28,097百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ563百万円増加し21,955百万円となりました。これは主に、立替金が303百万円、売掛金が211百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ62百万円減少し6,141百万円となりました。これは主に、顧客関連資産が65百万円、のれんが27百万円減少した一方で、投資有価証券が61百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ806百万円増加し7,545百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ793百万円増加し5,927百万円となりました。これは主に、買掛金が781百万円増加した一方で、未払法人税等が359百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ13百万円増加し1,617百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が4百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ305百万円減少し20,552百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益789百万円を計上した一方で、剰余金の配当により1,292百万円が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結業績は、前年同期と比較して、営業収益および営業利益は増収増益となりました。一方、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年同期に為替差益を計上した反動で減益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、当初計画から大きな乖離はなく、概ね計画どおりに推移しております。このため、2026年4月14日に公表いたしました2027年2月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想については、変更ありません。

今後、業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,169	14,193
電子記録債権	124	158
売掛金	4,824	5,036
立替金	2,011	2,314
その他	306	300
貸倒引当金	△44	△47
流動資産合計	21,392	21,955
固定資産		
有形固定資産	567	553
無形固定資産		
のれん	326	299
顧客関連資産	789	723
その他	146	137
無形固定資産合計	1,262	1,160
投資その他の資産		
投資有価証券	3,923	3,984
その他	480	474
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	4,373	4,428
固定資産合計	6,204	6,141
資産合計	27,596	28,097
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,001	3,782
未払法人税等	761	402
賞与引当金	461	489
役員賞与引当金	51	7
その他	858	1,245
流動負債合計	5,134	5,927
固定負債		
繰延税金負債	211	212
退職給付に係る負債	752	756
役員退職慰労引当金	239	238
資産除去債務	247	247
その他	153	162
固定負債合計	1,604	1,617
負債合計	6,738	7,545

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500	500
資本剰余金	5,045	5,045
利益剰余金	13,545	13,042
自己株式	△392	△392
株主資本合計	18,698	18,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119	118
為替換算調整勘定	1,638	1,816
退職給付に係る調整累計額	38	37
その他の包括利益累計額合計	1,797	1,972
非支配株主持分	362	384
純資産合計	20,858	20,552
負債純資産合計	27,596	28,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
営業収益		
輸送事業収入	14,707	14,901
その他事業収入	30	31
営業収益合計	14,738	14,933
営業原価		
輸送事業仕入	12,158	12,223
その他事業仕入	17	16
営業原価合計	12,176	12,239
売上総利益	2,561	2,693
販売費及び一般管理費	1,500	1,586
営業利益	1,060	1,106
営業外収益		
受取利息	17	40
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	47	37
為替差益	175	-
その他	6	4
営業外収益合計	246	82
営業外費用		
支払利息	3	2
為替差損	-	12
その他	0	0
営業外費用合計	3	15
経常利益	1,303	1,173
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,303	1,173
法人税、住民税及び事業税	384	369
法人税等調整額	△15	△0
法人税等合計	369	369
四半期純利益	934	803
非支配株主に帰属する四半期純利益	63	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	870	789

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	934	803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△1
為替換算調整勘定	△247	158
持分法適用会社に対する持分相当額	△36	26
退職給付に係る調整額	0	△1
その他の包括利益合計	△271	182
四半期包括利益	662	986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	625	964
非支配株主に係る四半期包括利益	37	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	132百万円	138百万円
のれん償却額	27百万円	27百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	計				
営業収益							
顧客との契約から 生じる収益	12,392	1,864	14,256	450	14,707	—	14,707
その他の収益	30	—	30	—	30	—	30
(1) 外部顧客に対する 営業収益	12,422	1,864	14,287	450	14,738	—	14,738
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	40	1,185	1,226	138	1,364	△1,364	—
計	12,462	3,050	15,513	589	16,102	△1,364	14,738
セグメント利益	838	149	988	72	1,060	—	1,060

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	計				
営業収益							
顧客との契約から 生じる収益	12,766	1,740	14,507	395	14,902	—	14,902
その他の収益	30	—	30	—	30	—	30
(1) 外部顧客に対する 営業収益	12,797	1,740	14,537	395	14,933	—	14,933
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	72	1,171	1,244	143	1,388	△1,388	—
計	12,870	2,912	15,782	538	16,321	△1,388	14,933
セグメント利益	871	196	1,068	38	1,106	—	1,106

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。